

◆作業時間

軽自動車 12分	普通車 17分
ステーションワゴン 22分	RV・1BOX 27分

◆使用ツール

- ・タオル3枚  
(拭き上げ用×2・ステップ用×1)
- ・ラ・モップ
- ・ラ・モップII
- ・タイヤブラシ
- ・プラスセーヌ
- ・下回りハンドモップ

◆使用設備

- ・快洗Wing
- ・エアーガン
- ・脚立(1BOX等用)

(c) Keeper Giken. All Rights Reserved.

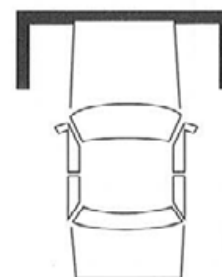
作業1. 車の移動

- ①運転席から本体に据え付けてある鏡を見て停止位置を確認する。



- ②車を降りたら車が枠に入ってるか停止線を越えていないか確認する。(図1)

※RV・1BOX特別車はキャリア等に注意すること。



(図1) 停止線

- ③窓が閉まっているか、半ドアになっていないかを確認する。



注意

忙しくても移動は慎重に。

POINT

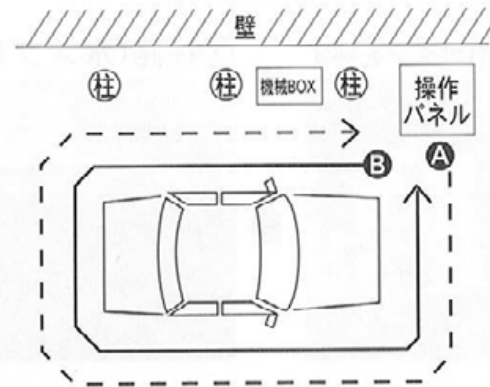
フロントバンパーの先端が停止線の上と重なるようにする。

## 作業2. 下回り洗淨

※Wing付属のスプレーガンはオプションとなります。  
その他の高圧ガン・快洗Jrをお持ちの方はそちらをご使用ください。

- ①図の **A** の位置でスプレーガンを持ち、  
車を1周し、**B** の位置までまわる。(点線)

※この時、水は出ていない。



- ②図の **B** の位置でスプレーガンの  
スイッチを入れる。



- ③タイヤハウスや下回りのドロ汚れを  
落としながら時計と反対まわりにまわる。  
(実線)



タイヤハウス



下回り

- ④図の **A** の位置に戻って  
スイッチOFF。



### POINT

必ずホースが1周した  
ところからスタート  
する。

### POINT

- ・ドロ汚れをキチンと落とす。
- ・冬場は特に塩化カルシウムを落とす。
- ・プロだからこそ、見えない所をキレイにする。

作業3. 水+泡かけ (泡ボタン操作)

車両の形状に合わせて普通車or1BOXを選択する。



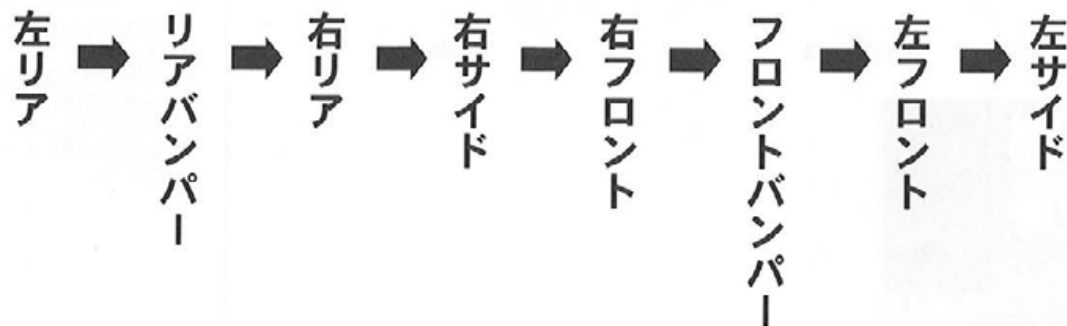
POINT

1BOXを選択するとリアガラス付近にもしっかりと泡がかかります。

作業4. タッチアップ

①タイヤブラシでタイヤを洗いながら片方の手にハンドモップを持ち、ホイール・下回り・タイヤハウス内バリと泥よけも洗う。

※手順は快洗Wingの設置位置により変化する。



POINT

タッチアップ中のウイングアームに接触しないよう気をつける。

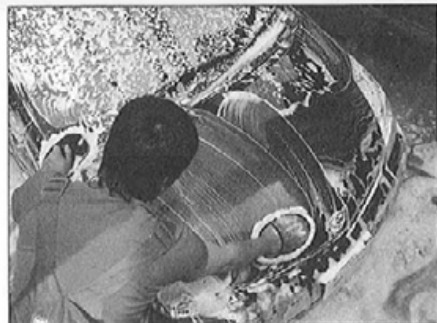
注意

アルミメッキホイールにはタイヤブラシは使わない。下回りモップでやさしく洗う。

②利き手にラモップⅡ、反対の手にラモップを持ちタッチアップする。



ラモップで体を支える。



ラモップⅡでタッチアップを行う。



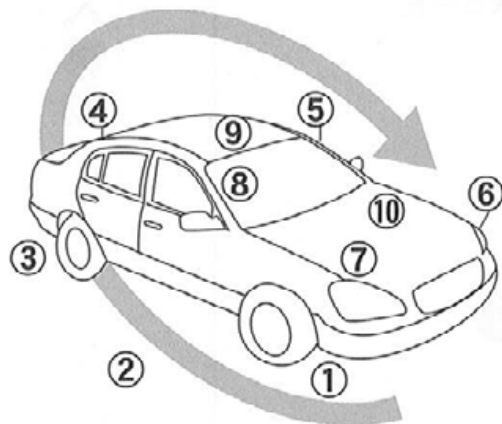
細かい部分、凹んだ部分はラモップⅡで。

POINT

4WD車のステップは、  
下回り用ハンドモップ  
と一緒に洗う。

タッチアップの手順例

※手順は快洗Wingの設置位置により変化します。



①右フェンダー



②右サイド



③リア方向へ



④リアまわりから  
左サイド



⑤左サイド



⑥フロントまわりから  
ボンネット



⑦右ボンネット



⑧右ガラスから  
右ルーフ



⑨左ルーフから  
左ボンネット



⑩左ボンネット

POINT

平面は大きく大きく枠を  
とり、側面は縁をとって  
塗りつぶす用に洗う。

注意

ムースが乾いた場合は水  
をかけながらラ・モップ  
でこする。

(c) Keeper Giken. All Rights Reserved.

作業5. 水洗い洗車の場合

タッチアップ終了後、水洗いボタンを押す。



往路  
水



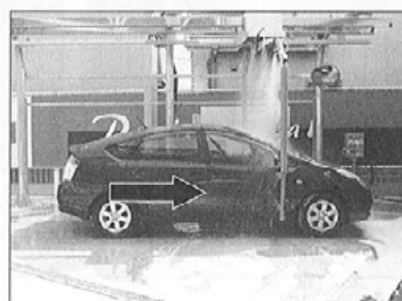
復路  
水

作業5. 撥水コート洗車の場合

タッチアップ終了後、撥水ボタンを押す。



往路  
撥水コート



復路  
水

仕上げ場へ移動



作業7. 水減らし

①プラスセーヌを一方向に動かし、水減らしする。



①運転席側のボンネット～トランクへ



②運転席側のサイドガラス～フロント方向へ



③運転席側面～リアバンパーへ



④助手席側のトランク～ボンネットへ



⑤助手席側のサイドガラス～リア方向へ



⑥助手席側面方向～フロントバンパーへ

この時点で時間をかけない。あくまでも減らすことを目的とし、手早くすませる。

作業

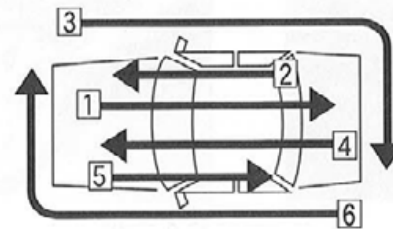
- ・一方向に動かす

目的

- ・二度拭きやバックしても水をすい取らない。
- ・効率よく一度で終わらせる

POINT

拭き上げではないので軽く減らすだけで良い。



(c) Keeper Giken. All Rights Reserved.

作業8. エアガン処理

タオルで処理できない [すき間] の水を追い出す。

①エアガンを一方向に動かし水を追い出す。



ドアミラー及び付け根



ワイパーとワイパーの付け根



ドアノブ



フロントグリル



給油口



バイザー (サイドバイザーがある場合)



アンテナ



ホイール

エアガンは一方向に。  
ポイント箇所は特に  
念入りに作業する。

作業

- ・エアガン

目的

- ・洗車をした後、走らせた時、ワイパーの付け根などから水が出てくることを防ぐ為
- ・タオルで拭けない箇所からの水を追い出す為

注意

ナビゲーションのアンテナがある場合はエアガンを吹いておく。

注意

モール部分やボディの隙間も作業する。

注意

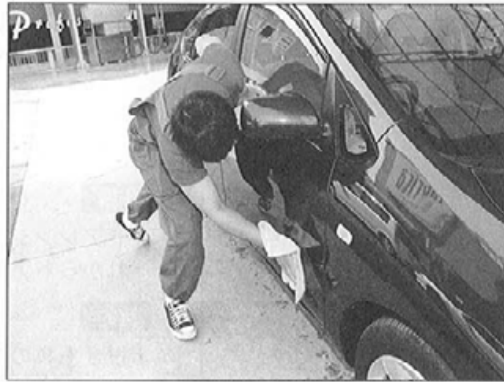
ポイント箇所は最低2回吹く。



## 作業8. 拭き上げ

作業順は、運転席から時計回りに進行する。

### ①ボディと窓を拭き上げる。



#### POINT

タオルは一枚だと体のバランスがとりにくい為、両手に持ち片手で体を支えながらもう一方で拭き上げる。

ポイント箇所①



ワイパーの下

ポイント箇所②



下回り

ポイント箇所③



窓ガラスの上端

窓ガラスを少し下げ  
窓ガラスの上端と  
バイザー裏を  
きちんと拭く

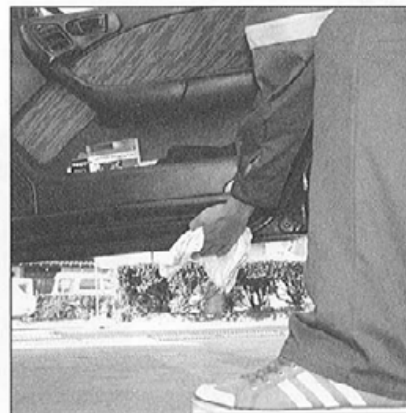
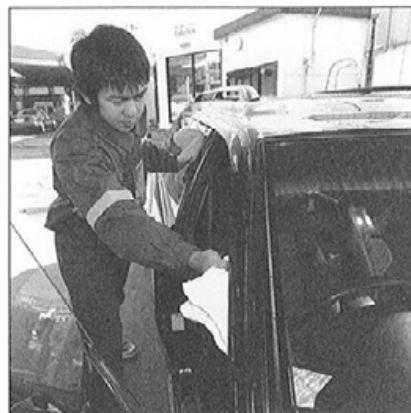
## 作業10. ステップ拭き上げ

①ドアを開けドアまわり・ステップをステップ用タオルで、ボディ側とドア側を拭く。



**注意**

運転席のドアを開けた時に  
(パワーウィンドウの場合、  
エンジンOFFにして) ポン  
ネットオープン用のレバー  
を必ず引いておく。



車体のステップまわりとドア回りを8の字を描くようにきちんと拭きます。

**POINT**



バックドアがある車は、乗降ドアと  
同じように拭く。

**注意**



細かな部分を拭きあげる。

- なでるような拭き方をしない。
- きちんと拭き上げる。
- タオルのきれいな面を使用し、  
汚れたら取りかえる。

**作業**

- ・運転席から始める

**目的**

- ・エンジンを切り、ボンネットの  
レバーを引くため

**作業**

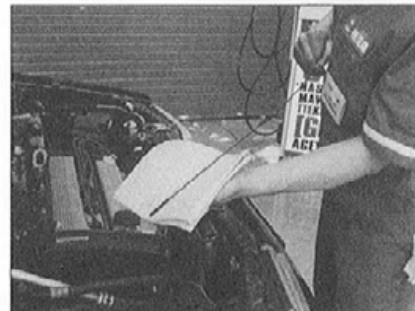
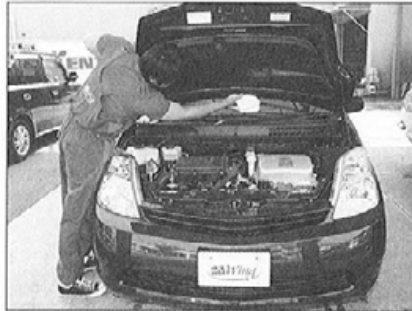
- ・ドアレンジからボディ側、そ  
れからドア側の順で拭く

**目的**

- ・拭きもれのないようにする為

## 作業8-2. 拭き上げ

②ボンネットも開けて縁を  
きちんと拭く。



### 安全点検を行う場合

ボンネットを拭き上げた時にチェックする。

□点検項目	・エンジンオイル	・バッテリー液
	・トルコンオイル	・ラジエーター液
	・ウォッシャー液	・ファンベルト
	・タイヤ	・ブレーキオイル

### POINT

ワイパー部分にゴミや枯れ葉がたまっている場合は、きちんと取る。

③きれいなタオルを置いた上  
から押さえてロックする。



作業11. 仕上げ

①ボディ用タオルで、ダッシュボード・メーターパネル・ステアリングカバーを拭き上げる。



②灰皿は吸いガラを捨て灰皿用ブラシを使って水洗いし、エアガンで水を飛ばしてタオルでキチンと水滴を拭きあげる。

手洗い洗車と室内清掃を同時に受注している場合、【作業11. 仕上げ】は、室内清掃の作業として行う。

③タイヤWAXを塗り、ホイールを拭きあげる。



注意

ホイールが濡れている時は、ホイールをステップ用タオルで拭く。

注意

ホイールを拭く際、タイヤWAXのクリーナを使用しないで、キレイな面で拭く。

POINT

塗りムラがない様にリムの部分も角度を取りながらキッチリと塗る。

作業12. 確認

車から1m位離れて1周して、洗い残し、窓の拭きムラ、水滴残りを確認・手直ししてからチェッカーに引き渡す。



## 緊急停止時の処理

### 動作中に「危ない!」と思ったら…。



操作パネルの「緊急停止ボタン」を押す。

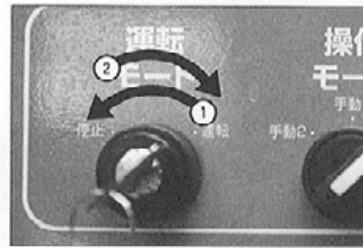
または



可動アーチを手でつかみ動きを止める。

いずれかの方法で機械の動作全てが停止します。

### 緊急停止状態から復帰するには…。



運転モードキースイッチ「停止」にセットし ①、もう一度「運転」にセットしてください。②

ブザーが止まり、緊急停止状態から復帰します。

### その他の緊急停止

以下の場合、洗車シャトルは緊急停止し、ブザーが鳴ります。

1. 給水タンクが満水になったとき
2. 回転式アーチが人や車、あるいは障害物等に接触し、通常の動作がおこなわれないとき
3. 異常停止ランプが点灯しているとき
4. 水中ポンプサーマルがトリップしたとき
5. シャトル走行用インバータがトリップしたとき
6. アーチ旋回用インバータがトリップしたとき

### 機械を元の位置に戻すには…。

緊急停止後は以下に示す操作をおこなって、シャトルと回転式アーチを原点位置まで移動させます。

1. 運転モードキースイッチを「運転」の位置にセットします。



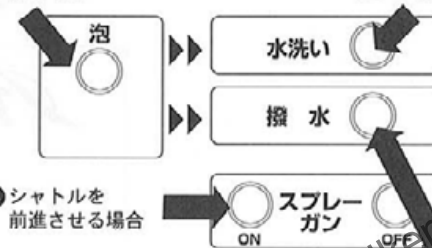
2. 操作モードキースイッチを「手動1」の位置にセットします。



3. 動かしたい部分に該当するボタンを押してください。

- Ⓐ 可動アーチを開く場合

- Ⓑ 可動アーチを閉じる場合



- Ⓒ シャトルを前進させる場合

- Ⓓ シャトルを後退させる場合

※機械の設置向きによってⒶとⒷ、ⒸとⒹの逆になることがあります。

(c) Keeper Cycle. All Rights Reserved.